

あさひ議会だより

38号

平成27年
9月1日
発行



おもな内容

議案内容と審査結果	2・3
第2回定例会の日程	3
主な議案質疑	4
請願の審査結果	4
第2回臨時会	4
一般質問	5～9
行政視察報告	9
常任委員会の審査	10
議会のうごき	11
旭市子ども議会	12

第61回旭市七夕市民まつり

中央商店街を中心に、神輿、お囃子、踊りなどのパレードが行われ、盛大に開催されました

平成27年度 旭市一般会計補正予算

農業活性化推進事業や

畜産競争力強化対策整備事業に3,981万円の補正

第2回定例会のあらまし

平成27年第2回定例会が、6月8日から6月25日までの18日間の会期で開かれました。

この定例会には、平成27年度旭市一般会計補正予算、条例の制定、財産の取得、人事案件、専決処分承認など12議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決・同意・承認されました。

6月15・16日には一般質問が行われ、9人の議員が登壇し市政全般にわたる議論が展開されました。また、最終日の25日には、委員会から2件の発議案が提出され、いずれも全員賛成で原案のとおり可決されました。

議案の内容と審査結果

補正予算

■議案第1号

平成27年度旭市一般会計補正予算の議決について (可決)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ750万円を減じ、予算の総額を273億7,725万円とするものです。

歳入の主なものは、災害復興

基金繰入金1,648万9,000円の減、地域振興基金2,000万円の減、諸収入1,000万円の増などです。

歳入の主なものは、定住促進

奨励金交付事業2,000万円の減、コミュニティバス等運行事業1,770万円の減、畜産競争力強化対策整備事業3,712万7,000円の増などです。

事業1,770万円の減、畜産競争力強化対策整備事業3,712万7,000円の増などです。

す。

人事

■議案第5号

旭市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて (同意)

林 利夫氏 中谷里 新任

■議案第6号

旭市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて (同意)

石毛丈康氏 後草 新任

条例の制定・一部改正

■議案第2号

旭市道の駅の設置及び管理に関する条例の制定について(可決)

道路利用者の利便性の向上や観光、産業及び文化の振興を図るため、道の駅を設置するにあたり条例を制定するものです。

■議案第3号

旭市病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

介護保険法の一部改正により、介護施設における居住費等の基準費用額が改正されたことに伴い、介護老人保健施設の使用料を改正するものです。



第2回定例会の日程

6月8日(月) (開会)

- 人事の紹介
- 議長報告事項
- 会議録署名議員の指名
- 会期の決定
- 議案の上程
- 提案理由の説明並びに政務報告
- 議案の補足説明及び報告の説明

6月11日(木)

- 議案の質疑
- ◇追加日程
 - <討論・採決>
- 常任委員会へ議案・請願を付託

6月15日(月)

- 市政に関する一般質問

6月16日(火)

- 市政に関する一般質問

6月19日(金)

- 建設経済常任委員会

6月22日(月)

- 文教福祉常任委員会

6月23日(火)

- 総務常任委員会

6月25日(木)

- ◇追加日程
 - 永年勤続表彰伝達並びに記念品の贈呈
- 常任委員長の議案・請願報告
 - <質疑・討論・採決>

- ◇追加日程
 - 発議案の上程
 - 提案理由の説明
 - <質疑・討論・採決>
 - 事務報告

(閉会)

永年勤続表彰

第91回全国市議会議長会の定期総会で、市議会議員として10年以上在職し、市政の振興に努められた功績により、林七巳議員が表彰されました。おめでとうございます。



表彰を受ける林七巳議員

財産の取得

■議案第4号

財産の取得について (可決)

化学消防ポンプ自動車1台を購入することについて、仮契約



更新を予定する化学消防ポンプ自動車

専決処分※

を締結したので、契約について議会の議決を求めるものです。

■議案第8号

専決処分の承認について

(旭市税条例等の一部を改正する条例) (承認)

■議案第9号

専決処分の承認について

(旭市都市計画税条例の一部を改正する条例) (承認)

■議案第10号

専決処分の承認について

(旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例) (承認)

■議案第11号

委員会提出議案

■発議第1号

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について (可決)

■発議第2号

専決処分の承認について
(旭市国民健康保険条例の一部を改正する条例) (承認)

■議案第12号

専決処分の承認について

(旭市重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例) (承認)

※専決処分 議会の議決・決定を経なければならない事柄について地方自治法の規定により議会の議決・決定の前に市長が処理することをいう。

報告

国における平成28年度教育予算拡充に関する意見書の提出について (可決)

■報告第1号

平成26年度旭市一般会計繰越明許費繰越計算書について

■報告第2号

平成26年度旭市一般会計事故繰越繰越計算書について

■報告第3号

株式会社季楽里あさひの事業計画について

■報告第4号

専決処分の報告について(損害賠償の額の決定)

■報告第5号

専決処分の報告について(金銭債権に係る訴えの提起及び和解)

■報告第6号

専決処分の報告について(住宅の明渡しに係る訴えの提起)

主な議案質疑

■議案第1号

平成27年度旭市一般会計補正予算の議決について

問 畜産競争力強化対策整備事業の内容について、詳しく伺います。(高橋秀典議員)

答 畜産農家を中心に、地域の関係者、JA、耕種農家、飼料会社、行政が連携して地域ぐるみの高収益型畜産体制を構

築し、経営規模の拡大、コスト削減、付加価値向上、需要創出等を目指す取り組みを支援する事業です。

問 畜産競争力強化対策整備事業は単年度の事業なのか、また、今年は肉牛ということだが、なぜ養豚農家が対象にならなかったのか。(高橋利彦議員)

答 平成26年12月に閣議決定された地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策の一つとして、農林水産業の振興ということで畜産競争力の強化が支援策として位置づけられており、当面続くと思われます。

問 牛が採択になった理由は、全国的に酪農、肉牛の生産農家の担い手不足が問題になっており、県内においても、酪農、肉牛の生産農家の戸数及び飼養頭数が年々減少している中で、本県でも牛関係の事業が採択されたものと考えます。

答 牛が採択になった理由は、全国的に酪農、肉牛の生産農家の担い手不足が問題になっており、県内においても、酪農、肉牛の生産農家の戸数及び飼養頭数が年々減少している中で、本県でも牛関係の事業が採択されたものと考えます。

問 旭市道の駅の設置及び管理に関する条例の制定について道の駅に関して、維持管理費は幾らになるのか伺います。(高橋秀典議員)

■議案第2号

旭市道の駅の設置及び管理に関する条例の制定について

問 道の駅に関して、維持管理費は幾らになるのか伺います。(高橋秀典議員)

答 光熱水費、芝生広場など緑地の管理費、施設の清掃費、各種法令に基づく保守点検業務、夜間警備、市の情報発信業務、それらに伴う人件費1名分の経費を合計し、約3,400万円と計算しています。

問 災害時、具体的に道の駅がどのような機能を発揮するのか伺います。(高橋秀典議員)

答 来場者や帰宅困難者のための一時避難スペースとしての駐車場やトイレ、食料等の物資の収集拠点としての活用が見込めます。

問 また、非常用発電を準備し、情報発信板からの災害情報等の発信、電源の確保、建物の照明等に活用したいと考えています。

答 情報発信板からの災害情報等の発信、電源の確保、建物の照明等に活用したいと考えています。

第2回臨時会

平成27年第2回臨時会が7月30日に開催されました。

この臨時会には、10月にオープン予定の道の駅「季楽里あさひ」を運営する指定管理者を指定する1議案が市長より提出され、可決されました。

指定管理者の指定

■議案第1号

指定管理者の指定について

(可決)

道の駅の管理運営を行うことを目的に設立した「株式会社季楽里あさひ」について、旭市指定管理者候補者選定委員会による審査により、指定管理者として適当であるとされたことから地方自治法の規定により議会の議決を求めるものです。

主な議案質疑

問 なぜ公募を行わず選定を行うことに決定したのか。

答 また、指定管理の年数を5年とした根拠は。(林晴道議員)

答 「株式会社季楽里あさひ」は、道の駅の指定管理を受けることを前提に市が約70%の出資をして設立した会社であることから、公募による選定はありませんでした。

指定管理の年数を5年としたのは、ほかの道の駅がほとんど5年であるということと、5年目で黒字になる事業計画である



開業準備が進められる道の駅季楽里あさひ

問 道の駅の経営はあくまでも独立採算を原則とすると考えてよいのか。

答 金融機関からの借り入れの必要が生じた場合、市はどのように関与するのか伺いたい。(高橋秀典議員)

答 総務省の第3セクターに関する指針には、経営は自助努力により行われるべきと定義されており、株式会社季楽里あさひも、しっかりと独立採算を行う事業計画となっています。

金融機関の借り入れについては、現在、5か年間の事業計画、収支計画では、借り入れを想定した事業計画とはなっていない。一般的な資金シミュレーションを一時的に起こすというような場合でも、基本的に市が関わるというようなことは想定していません。

一般質問

市政に関する一般質問は6月15・16日の2日間行われ、9人の議員が登壇しました。
主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

旭中央病院

独法化後の 経営方針は

(林晴道議員)

問

独法化に移行したら、理事長に大きな権限が与えられ、経営を左右することが予想されますが、現在の責任者である事業管理者は、移行後、どのような経営方針が旭中央病院としてよいとお考えか。

また、移行準備を進める過程において、病院として現在の担当者のみで対応できるのか。それらの問題を解決するために、外部への委託や外部からの人材



新たに建設された中央病院医師マンション

答

現在六十数年行ってきた地域医療をこのまま引き継いでいくのが一番よいかと思っています。

外部の人材については、新しい理事長等が決まってから検討するべき内容かと思っていますので、それが決まり次第、早急にそういった人材確保についての検討もしていきたいと考えています。

財政

今後の見通しは

(米本弥一郎議員)

問

財政シミュレーションによれば、財政調整基金の積み立てが年々減少し、平成31年度からはゼロになり、平成30年度からは財政調整基金の取り崩しが続きます。これは、どのような理由によるものか。

また、この状況は平成34年度以降も続くと考えられるのか、お伺いします。

答

平成28年度から普通交付税の合併算定替の段階的

縮減による一般財源の減少に伴い、財政調整基金の積立額は減少していき、平成30年度から基金の取り崩しを推計しています。

平成34年度以降の推計は出していますが、今後の行財政改革の中で、公共施設の統廃合など、歳出の抜本的な見直しが行われない限り、基金の取り崩しが続いていくものと予想されますので、なお一層の行財政改革を進め、極力財政調整基金の取り崩しに依存しない健全な財政運営に努めていきたいと考えています。

ふるさと納税

早期に 導入できないか

(滑川公英議員)

問

ふるさと納税は特産品目当てが浮き彫りになっており、農業産出額県下第1位、全国第9位の産産力を生かすふるさと納税は、行政だけでなく地場産業の活性化にもつながりますので、ぜひ前倒しで、「季楽里あさひ」のオープンと同時にやっていただきたい。

一般質問の質問事項

発言議員と質問事項を紹介いたします。



林 晴道
議員

- 1 中央病院について
- 2 商業観光事業について
- 3 環境保全事業について
- 4 学童クラブについて
- 5 水道事業について



滑川 公英
議員

- 1 マイナンバー制度について
- 2 夏休み中の学童保育について
- 3 ふるさと納税について
- 4 プレミアム付商品券の応募結果について



有田 恵子
議員

- 1 旭市コミュニティバスについて

答 来年の4月を目標にいろいろと準備を整えているところ、条例の制定や返礼品の問題等、検討して結論をつけなければならい部分がいっぱいあり、5年の復興計画が終わった時点で、しっかりと市内外に周知をして、旭市もこれからふるさと納税を始めますという形にしたいと思っています。

寄付金の実績とふるさと納税

(平野忠作議員)

問 旭市への寄附金者及び金額の過去3年間の実績と旭市民のほかの自治体への寄附金額の過去3年間の実績はどうか。

また、ふるさと納税に対する取り組み方について伺います。

答 寄附者及び寄附金額は、平成24年度は23人で48万9,519円、平成25年度は33人で93万8,415円、平成26年度は18人で73万4,000円です。

また、旭市民のほかの自治体への寄附金額は、平成24年は27人で12万4,706円、平成25年は35人で17万5,000円、平成26年は35人で17万5,000円です。

成26年は111人で86万4,000円です。

平成28年度から、ふるさと納税制度の実施を予定しています。10月オープンの道の駅を活用し、記念品に特産品を贈呈して地域産業の活性化につなげ、ふるさと納税を生かしたまちづくりを進めたいと考えています。

放課後児童クラブ

受託料の口座振替の実施を

(林晴道議員)

問 今後も保護者の就労に伴い、利用児童数の増加が予想されます。少子化との兼ね合いの中で、今後どのような施設整備をしていくのか。

また、受託料の納付方法ですが、保護者が昼間家庭にいない児童が加入資格であるのに、納付書での窓口支払いのみでは不便であろうと思います。現在の利用数を考えますと、口座振替については早期に実施すべきだと思いますが、お伺いをします。

答 児童数の動向や利用状況を見ていくことが必要で



新しく整備された琴田児童クラブ室

すが、現時点では新たな整備の予定はありません。

口座振替についてですが、就労されている方々の納付負担の軽減と、そしてまた便利で安全であることから、受託料の口座振替については、その実施に向けて作業を進めていきたいと思っています。

教育

総合教育会議に対する市長の考えは

(米本弥一郎議員)

問 総合教育会議は地方公共団体の長及び教育委員会

により構成され、地方公共団体の長が招集することとされています。市長は、どのような思いを持って、総合教育会議を招集、出席されるのか、お伺いします。

答 教育の重要性は誰もが感じているところでありまして、学校、社会、家庭が一緒になってコミュニケーションを図り、向上させていかなければなりません。

行政のかかわりは重いと思いますし、総合教育会議でその意義を深めていきたいと考えているところでもあります。地域全体の努力で子どもたちが郷土愛、家族愛を感じられるような意識を作っていくかなければ、地域の再生はないと考えているところでありまして、この総合教育会議でも大きな柱として捉えていきたいと思っています。

商工業

新たな方策で消費喚起を

(滑川公英議員)

問 今、全国でも紙の商品券でない地域通貨等に移行

2 職員の採用について

3 道の駅について

4 三川蛇園線整備事業について

5 まちかどギャラリーについて

6 袋公園用地売買について



米本 弥一郎
議員

1 稲作農家の所得確保策について

2 国民年金保険料の後納制度について

3 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律について

4 第3次旭市行政改革アクションプランについて



伊藤 保
議員

1 上水道と消火栓について

2 子供の貧困について

3 観光について

4 新庁舎について

している自治体が多いということです。行政または商業振興連合会で考えていただければ、手数料、経費も圧縮でき、プレミアム分に乗せして一般消費者の方に渡るのはないかと思えますので、次のプレミアム付商品券発行のときには、ぜひ検討していただきたいと思います。

答

カードということだと思いますが、他市町村で電子版のプレミアム付商品券を実施しているところがあります。それについては、商品券の発行手数料はかららず、その分を金額に乗せしていると聞いています。

次回発行するようになった場合には、商業振興連合会と協議し検討したいと思います。

住宅リフォームに助成を

(太田将範議員)

問

政府の地方創生政策は、商工業者を積極的に支援する方向を打ち出しています。具体的に、住宅リフォーム助成制度は、市内の業者さんへの発注になるので、地元の業者さんや、小売店等に仕事が回っています。

きます。その経済効果は非常に大きいので、旭市においてもそろそろやっていただきたい。

答

検討に値すべき問題だと思っているところであり、その財源、社会資本整備総合交付金を、旭市は今まで復興のために使ってきましたが、財源のほうもよく考えながら研究をして、近々にそういった方向で検討していきたいと思っております。

商工業者の独立・開業に支援を

(太田将範議員)

問

零細事業者に対し、融資制度はあっても、直接助成というのがありません。開業するに当たって、限度額が50万円とか、資金計画の半分までとか、直接的な助成があれば開業が非常にやりやすくなります。そのことが回りまわって市の財政を潤すと、税収も上がり、市の財政もよくなっていくという循環が生まれるはずですが、検討していただきたいが。

答

支援事業として助成をするということとは、財政と相談をしながらやっていけるのかと思います。地方の経済を活性化させるために、起業家をつくるという、新しく仕事を起こす人に対して、何らかの形で少しでも支援をしていくことは考えていかなければと思うので、検討をしていきたいと思

道路

生活道路の整備を

(木内欽市議員)

問

生活道路幅員4メートル未満の整備について、条件がそろえばやっていただけたということですが、なかなか進んでいません。4メートル未満だと1メートル舗装料金が約1万円、1万メートルやっても1億円ですから、かなり市内の不便なところが解消できると思うので、ご検討願いたいと思います。

答

どのくらいの要望件数があるのか、そしてまた、どのくらいのキロ数があるのかを担当のほうでよく調査し、それが予算の範囲内であるというのであれば、計画的に生活

道路の部分については舗装していききたいと思っています。

通学路の安全対策を

(木内欽市議員)

問

通学路の安全対策を早急に行うべきと思いますが、中央病院南側の道路の車の通行量が多く、いつも大変危険だと感じています。児童・生徒の安心な通学路というようなお考えがあるかどうか伺います。

答

県と今対策を練っているのは、路肩部分に対する緑色のペイントを、現在市内の数か所で実施をしています。今後も通学路に関しては、学校教



医師マンション南側歩道スペース



平野 忠作
議員

- 1 防災について
- 2 ふるさと納税について
- 3 農業振興について
- 4 人口減対策について
- 5 空き家対策について



木内 欽市
議員

- 1 地方交付税の見直しについて
- 2 職員の不祥事について
- 3 新庁舎建設について
- 4 道路問題について
- 5 ふるさと納税について
- 6 空き家対策について



高橋 利彦
議員

- 1 文化の杜公園の新庁舎用地への転用について
- 2 下水道事業について
- 3 職員の採用について

育課等々と連携をとり、できる限りの対策を実施したいと考えています。

そして、今回医師マンシヨンの建設に伴い、病院敷地の一部を歩道スペースとして確保しました。この区間についてはアスファルト舗装をして、暫定的な歩道スペースとして、今年度中に供用開始する予定です。

また、ここより西側の旭農業高等学校までの区間に関しては、今年度、測量調査設計に入る予定です。

消防

消火栓の設置を

(伊藤保議員)

問 旭市における消火栓設置本数の約2分の1が消防

法に合っていないということですが。基本計画を見ると、「消火栓や防火水槽の設置を進めます」と書かれています。これは計画的にやっていかなければ、旭市の市民の皆さんが本当に安心して住めるまちに通じていかないのではないかと。



飯岡地区で整備された防火水そう

答

よく精査をし、可能性があれば年次計画を立てながらやっていきますが、水道管の管を太くする工事は大金がかかることですので、防火水槽の設置できる場所を探して、整備が不足している地域があれば、防火水槽で対応してやっていきたいと思っています。

防災

津波到達地点の標示を

(平野忠作議員)

問

標示板について、陸地にどの程度まで津波が押し

寄せたかという明記がありません。今後風化して、誰も証明する人がいなくなった場合困りますので、ぜひお願いをしたいが。

答

津波の最大到達地を示すものを、東北地方では記念碑的に造っているということがあります。確かに後世に記憶、それから継承としてそういったものが重要だというのは、東北地方の三陸沿岸に設置されているものを見れば分かります。

旭においては、実際にはなかなか到達地点が一定ではないので難しいところがありますが、検討していきたいと思っています。

福祉

子どもの貧困対策で学習支援を

(伊藤保議員)

問

子どもの貧困について、今、各地で放課後の学習指導ということで対策がされています。放課後学習支援をしっかりと行政で考えていただけたらありがたいのですが。

答

今年度より生活困窮者自立支援制度が動き出して

人事

職員採用の試験官は

(有田恵子議員)

問

旭市役所職員による前代未聞の万引き事件を鑑みて、職員の採用試験プロセスの説明をお願いしたい。集団討論と面接試験を二次試験に行うということですが、この試験官はどなたが担当しますか。

答

一次試験は、東総広域市町村圏事務組合を通じて、千葉県市町村総合事務組合で実施する合同採用試験に参加して実施しています。二次試験では、一般行政職は集団討論、専門職

おり、その中に、学習支援のメニューもあります。しかしながら、困窮者の場合には、学習支援よりもまず仕事がないと生活基盤が成り立たないということと、旭市では就労支援のほうに重点を置いて、現在取り組んでいるところです。子どもの貧困対策における学習支援については、まだ二次的なものというところで、今年度は取り組んでいません。



太田 将範
議員

- 1 小規模事業支援について
- 2 生活困窮者支援について
- 3 育英資金の拡充について
- 4 医療行政について
- 5 都市計画区域の見直しについて

と消防職は面接になります。一般行政職は二次試験に合格した後、三次試験として面接があります。

面接官は、24年度からは外部面接官2名入れて実施しています。集団討論も、副市長、外部の面接官2名を含めて5名でやっています。個人面接については、職種に応じて市長、副市長、教育長ほか、4名から5名で判断しています。

契約

袋公園用地売買について

(有田恵子議員)

問 平成21年5月15日、仮登記が付けられたままの不動産の土地を市役所が地権者から買ったということですが、本当ですか。

答 契約する前に、土地所有者本人から直接、仮登記が抹消可能となったと連絡があり、事実関係を担当する司法書士に確認をして、あくまで所有権以外の全ての権利が抹消されていることを条件として、5月15日付で契約を締結したということです。

新庁舎建設

候補地選定の経緯は

(高橋利彦議員)

問 文化の杜公園の新庁舎用地の転用について、パブリックコメントなどと市民の総意のような言葉のもとに、新庁舎建設の候補地に挙がっています。これでは、市民のために先人たちがせっかく苦勞して整備した公園は、当初から必要がなかったということ、全面否定につながるのではないか。

答 平成26年10月7日に、市民会議から市長に、新庁舎建設位置についての提言がありました。

土地計画の変更手続きや公園整備で受けた補助金の一部返納といった課題があるものの、市の中心部にあつて市民の利便性も高い現公園施設が、県の広域防災拠点及び市の広域避難場所として位置づけされており、防災機能も備わっていることから、庁舎が建設されることで防災拠点、公園として機能もより向上する点等を総合的に判断し、市民会議として、新庁舎の建設位置は旭文化の杜公園ゲートエリア付近とすることが望ましいという結論で提言いただいています。

下水道

補助金と負担金額は

(高橋利彦議員)

問 汚水処理のために下水道事業を取り入れた自治体は、今では財政的に大きな重荷となっています。

市は毎年4億円を一般会計が

ら下水道事業特別会計に繰出しています。下水道地域に指定された住民は、本人の意思にかかわらず加入料を徴収されていますが、事業総額における補助金と市及び受益者の負担金額について伺います。

答 現在、事業認可を得て整備を進めている区域の面積は202ヘクタールで、本年度をもって整備が完了する予定です。戸数は2,978戸、人口で6,605人となっています。

平成26年度末における建設事業の総事業費は約130億円、国と県からの補助金が約52億円、市の負担金が約70億円、受益者負担金が約8億円となっています。



下水道からの汚水を処理する旭市浄化センター

議会だより編集委員会

行政視察報告

7月17日に、石川県津幡町へ議会だよりの編集について研修をしてまいりました。

津幡町は面積約110平方キロメートル、人口は約3万8,000人と微増を続けており、町としては大きく、金沢市から、電車で10分程度と金沢市のベッドタウンとして成り立っているようです。

先方の「つばた議会だより」は、「議会広報調査特別委員会」として独立しており、町議会の活動状況や行政の動きを、正確に町民に伝え議会に対する関心の高揚を図り、常に町民が読むものであるということを念頭に置き、読みやすく分かりやすく親しまれる議会報を目指していることを感じました。その中で、特に留意している点として、文章は短く分かりやすい言葉で表現し、行政用語を使うときは注釈をつけ、見出しは具体的なものを読みやすく、多く使うということでした。

編集過程において、大きく異なる部分として、一般質問の質問部分については質問者本人が、1問165文字以内



編集方法について説明を受ける議会だより編集委員

で2問までを選択し、2問以外の質問は委員会において要約し、答弁要旨や質疑は担当委員が作成し掲載している点でした。このことにより質問者の真意が変わる事なく編集作業が行えるため、当委員会においても調査研究をし、取り入れていくべきだと感じました。

旭市議会だより編集委員会にとっては、大変有益なものとなりました。今後も必要な行政視察を行い、より市民に分かりやすく親しまれる「あさひ議会だより」の充実につなげていきたいと思っています。

建設経済常任委員会

6月19日(金) 午前10時～
2議案の審査

建設経済常任委員会審査の様子



議案第1号

平成27年度旭市一般会計補正予算の議決について
のうち本委員会所管事項について

問

農業経営多角化支援事業補助金について、
事業の支援を受けるには資格、認可等が必要なのか？

答

農林水産漁業者等が農林水産物の生産及び
その加工、または販売を一体的に行う総合
事業化計画を作成して、農林水産大臣の認
可を受け、承認されると支援が受けられる。

審査の結果

委員会付託の2議案について、全員賛成で、原
案のとおり可決

文教福祉常任委員会

6月22日(月) 午前10時～
4議案、請願2件の審査

委員会終了後、嚶鳴小を視察



議案第1号

平成27年度旭市一般会計補正予算の議決について
のうち本委員会所管事項について

問

母子保健費の育児支援事業の内容は？

答

両親学級の開催、子育て支援学級の実施、
育児サークルの育成支援、離乳食教室、育
児相談、言葉や発達の相談などがある。

審査の結果

委員会付託の4議案について、全員賛成で、可決

請願第1号

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書採
択に関する請願について

請願第2号

国における平成28(2016)年度教育予算拡充に
関する意見書採択に関する請願について

審査の結果

請願第1号、請願第2号とも全員賛成で採択

総務常任委員会

6月23日(火) 午前10時～
6議案の審査

委員会終了後、長生村の津波避難施設を視察



議案第1号

平成27年度旭市一般会計予算の議決について
うち本委員会所管事項について

問

買い換えるコミュニティバスは、今までの
バスと同じ大きさか。

答

今までのバスは、乗車定員43人で、これを
30人程度のノンステップバスにかえる。

議案第4号

財産の取得について

問

化学消防ポンプ自動車の装備は？ また、
どのような火災の際に出動するのか？

答

化学消防ポンプ自動車には、普通ポンプ自
動車の装置に、泡原液槽と泡混合装置が加
わり、タイヤ火災、工場火災、車両火災、
林野火災など水利の少ない火災現場に出動
している。

審査の結果

議案第1号、議案第4号、議案第8号、議案第
9号、議案第10号は全員賛成、議案第2号は賛成
多数で可決

議長 の うたぎ

平成27年2月27日以降
の議長のうたぎ

2月

●千潟町中央保育園遊戯会

3月

●旭市歯と口腔の健康づくり推進
条例制定記念市民公開講座

●旭中央病院新医師宿舎竣工式

●旭中央病院附属看護専門学校
第50回卒業式

●旭市文化協会「合同美術展」

●第9回チャリティー旭市文化
協会芸能発表会

●旭市海岸減災林3000本植
樹祭

●東日本大震災四周年千葉県・
旭市合同追悼式

●旭・いいおか津波を語り継ぐ
集い

●小中学校卒業式

●旭市放課後児童健全育成事業
琴田児童クラブ室新築工事竣

工式

●椿湖干拓345年滝郷生き活
きふれあいまつり

●海上ライオンズクラブCN結
成20周年記念例会

●大原幽学先生墓前祭

●第65回千葉県消防大会受章祝
賀会

●うなかみ幼稚園終了式

●平成27年3月東総広域水道企
業団議会定例会

●第19回袋公園桜まつり

●千潟町中央保育園入園式・対
面式

●東総地区広域市町村圏事務組
合議会全員協議会

●あさひこひつじ幼稚園入園式

●小中学校入学式

●旭中央病院附属看護専門学校
入学式

●平成27年度旭市教職員歓迎式

●うなかみ幼稚園入園式

●第181回千葉県市議会議長
会定例総会

●平成27年度旭市春のへら鮎釣
り大会表彰式

●旭市民生委員児童委員連絡協
議会定期総会

●平成27年度旭すみれ会総会

●第10回旭市商工会青年部通常
総会

5月

●旭市七夕市民まつり実行委員
会

●旭市商業振興連合会第9回通
常総代会

●福祉講演会「スウェーデンに
学ぶ福祉の未来」

●旭市文化協会定時総会

●平成27年度旭市区長会定期総
会

●第57回旭市納税貯蓄組合連合
会定期総会

●平成27年度花と緑で旭を元気
にする協議会総会

●第46回旭市雇用対策協議会定
期総会

●旭市商工会女性部通常総会

●旭市遺族会定期総会

●第59回千葉県東部五市体育大
会

●第10回旭市商工会通常総代会

●いいおか潮騒ホテルレストラ
ン試食会

●公益社団法人旭市シルバー人
材センター定時総会

●旭市観光協会第37回通常総会

●旭市母子寡婦福祉会総会

●平成27年度旭市PTA連絡協
議会第1回代議員会(総会)

●旭市ボランティア連絡協議会
総会

●山武・東総地域広域幹線道路
総会

●網整備促進期成同盟会通常総
会

●第17回銚子連絡道路整備促進
地区大会

●飯岡観光協会通常総会

●旭市防犯組合連合会総会

●第20回飯岡磯ガキ祭り試食会

●第81回関東市議会議長会定期
総会

●北総四市議会意見交換会

●旭市観光物産協会設立総会

●小中学校運動会

●旭市消防団ポンプ操法訓練激
励会

●第63回あさひ舞踊会

●旭市老人クラブ連合会定期総
会

6月

●旭市老人クラブ連合会定期総
会



日ごろの訓練成果を披露した消防操法大会

議会を傍聴しませんか

第3回定例会が9月1日(火)
から行われます。

議会開会中は、議会を傍聴
することができます。希望さ
れる方は、市役所3階までお
いでください。

なお、市役所本庁と各支所
ロビー、千潟公民館、飯岡福
祉センター、総合体育館のテ
レビで、本会議の様子が放映
しています。

また、市ホームページでは
議会ライブ中継及び議事録の
公開をしております。

さらに、議会録画中継(本
会議)も日程終了後のおおむ
ね7日程度で視聴することが
できますので、ぜひご利用く
ださい。

詳しくは議会事務局へ

☎62・5304
FAX 62・5384

平成27年度

旭市 子ども議会

7月29日に本庁舎3階の議場で、平成27年度子ども議会が開催されました。

一般質問を行ったのは、市内小中学校20校から22名の子ども議員で、議場で行われる定例会本番さながらの一般質問の模様を体験しました。

議事進行役は旭市議会の景山岩三郎議長が務め、市長をはじめ教育長、各課長が質問に対して答弁にあたりました。

市政に対しての質問では、安全な通学路の整備や環境対策など多岐にわたり、執行部の答弁に対し再質問が出るなど積極的な議論が行われました。



子ども議会終了後、景山議長、明智市長たちと記念写真

- **藤崎 遼**(中央小)
●旭市にやさしさを
- **伊藤 颯真**(中央小)
●旭市に観光客がたくさん来るには
- **塙 勝利**(琴田小)
●みんなが集える公園の整備について
- **町田 安里**(千潟小)
●通学路の街灯について
●通学路のカーブミラーについて
- **平野 和輝**(富浦小)
●通学路の交通安全対策について
- **伊藤 里可子**(矢指小)
●環境を守る取り組みについて
- **高木 瑠菜**(共和小)
●旭市の市立図書館について
- **井橋 駿斗**(豊畑小)
●旭市の通学路の安全対策について
- **加瀬 寛裕**(鶴巻小)
●道路建設の必要性和自然に与える影響について

- **木内 香里**(滝郷小)
●勉強を楽しく使いやすく
- **伊藤 彩弥香**(嚶鳴小)
●旭市の農業、漁業、畜産業の振興策について
- **藤野 心**(三川小)
●障害をもつ方が住みやすい町づくりを目指して
- **羽田 愛菜**(飯岡小)
●塙地区の歩道の設置について
- **塚本 彩乃**(中和小)
●千潟地区の公園整備について
- **柴田 真実**(萬歳小)
●セレクト給食について
- **金谷 総真**(古城小)
●交通事故の防止、交通安全のマナーや意識の向上について

- **明智 杏莉**(第一中)
●学区区分について
- **伊藤 菜那香**(第二中)
●通学路の草刈りの回数を増やすことは可能ですか
- **野口 恵理**(第二中)
●通学路に街灯を設置する予定はありますか
- **齋藤 翔希**(海上中)
●旭市の奨学金の制度について
- **田宮 健太郎**(飯岡中)
●飯岡中学校の跡地利用について、どのような計画があるのでしょうか
- **長谷川 知輝**(千潟中)
●川の環境や景観の改善

編集後記

議会だよりでは、主に各議会での議員の発言内容をわかりやすく伝えることを目的としています。今も昔も政治は本人・代理人関係で説明されます。本人が市民なら、代理人は議員といえます。声なき声を聞く姿勢が議員に求められる理由は、議員が市民の代理人であるからです。小さな問題も見逃さずことなく発言していく議員たちに期待を寄せていただきたいと思います。

編集委員会では議会だよりを改善に改善を重ねて編集を行い、より充実した紙面作りにも今後も精進してまいりたいと願う所存です。

(委員 有田恵子)



旭市議会だより編集委員会

委員長 伊藤 保
副委員長 高橋 秀典
委員 有田 恵子
委員 林 晴道